

日本遺産にふさわしい
画期的な商品開発をしたい!



お店でもできる
日本遺産の商品化を
創りたい!



日本遺産を契機に
異業種の人たちと
コラボレーションしたい



参加の
ご案内

商品化セミナー

日本遺産に関する

日本遺産の商品開発で
街を活性化したい!



日本遺産をテーマにした
旅行商品や体験型商品を
創りたい!



日本遺産にふさわしい
デザイン開発の考え方を
知りたい



日本遺産の関連商品を
創りたい



日本遺産「かさましこ～兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”～」ブランドを上手に活用する日本遺産関連商品の開発を推進することで、「かさましこ」地域の認知度向上と地域の活性化を目指します。時代とともに生き、また進歩してきた「かさましこ」の陶文化の先取の精神を表現する新しい商品開発とは何かを、笠間市・益子町で働く皆様と共に考えてまいります。モノづくりの各界を代表する先生方の講演と、MBA手法を活用した楽しくて役に立つワークショップの2本立てセミナーを全3回開催いたします。ぜひこの機会にお気軽にご参加ください。

日程・講座

各 13:30～16:30

1月28日(木) **講演** プロダクトデザイナー 辰野しずか 先生 **ワークショップ** 近滋男 先生

2月7日(日) **講演** 料理人・飲食店プロデューサー 宮下大輔 先生 **ワークショップ** 近滋男 先生

2月17日(水) **講演** 商品ジャーナリスト 北村森 先生 **ワークショップ** 近滋男 先生

会場：益子町中央公民館 2階 研修室

商品化セミナーは大きく2つの構成で行います

各界屈指の
スペシャリストの
講演会

+

新たな
商品企画を教える
ワークショップ

の2本立てで行うセミナーです

- 従来の商品化セミナーにはない3つの“切り口”で展開する3名のスペシャリストによる刺激的な問題提起型講演会と、商品開発研修のプロフェッショナルであるファシリテーターによる、講演のテーマを受けたワークショップという2本構成で実施します。

動機付けは3つの切り口で

第1回テーマ

デザインで
切る！

第2回テーマ

食と生活で
切る！

第3回テーマ

「モノ」と「コト」の
新しい価値の発見で
切る！

- 講演は50分+質疑応答10分を予定。
ワークショップは、ジャンピング手法の解説15分に始まり、予行演習（8の8方向演習）を15分。さらに焦点発想法・チェックリスト法などを使って、楽しみながら商品企画を考える90分の計120分を予定しています。
- 講演60分、ワークショップ120分の実践的セミナーで、初年度は、60～90アイテムの商品企画&開発テーマを導き出していきます。

日本遺産関連商品を考える

日本遺産をフックに、食や生活提案のための素材（モノとしての商品）やスタイルの商品化はもとより、観光モチーフやサービスとしての商品まで、境界・領域を超えた商品開発を共に考えていきましょう。

新たな考え方、
発想に触れ
自らの商品を
考えてみませんか

- 日本の伝統的デザインに着眼、数多くの賞を獲得し、アジアマーケットを視野に入れている辰野氏。日本の伝統的で普遍的なデザインの神髄にふれるお話から、ご自身に関わるグローバルも意識したデザインを考えてみませんか？
- 和食にこだわり、自ら名店を経営し、調理に取り組むばかりだけでなく、多くの店舗、空間をプロデュースしてきた宮下氏の経験の数々から、和食の中に脈打つ日本の文化、食、生活を基軸として、リアルにマーケットを意識した店舗、販売、商品を考えてみませんか？
- 観光業界のみならず、それ以外の業界でのヒット商品の数々、そしてその秘密を知悉する北村氏。数多くの事例から知る他業界の斬新な切り口、考え方、価値観等、その中から見える新しいマーケットの実態にふれ、この業界の中からは見えてこない発想で、自らの商品、販売を考えてみませんか？

商品化セミナーに参加していただきたい方

- 陶芸家の皆様 ● 様々なジャンルのクリエイター、作家、工房、体験所の皆様
- 地域で活躍するNPOの皆様 ● 商工会に参加の皆様 ● 様々な事業者、販売店の皆様
- 観光協会や観光産業事業者の皆様 ● そして笠間市民、益子町民の皆様

3名の講演会の先生とファシリテーターのご紹介

第1回テーマ デザインで切る！

デザインと手法を実験的な精神で革新する世界が注目するデザイナー



辰野しずか

プロダクトデザイナー
クリエイティブディレクター

株式会社 Shizuka Tatsuno Studio 代表取締役。1983年生まれ。英国のキングストン大学プロダクト&家具科を首席で卒業。デザイン事務所を経て、2011年に独立。2017年より株式会社 Shizuka Tatsuno Studioを設立。家具、生活用品、ファッション小物のプロダクトデザインを中心に、企画からディレクション、付随するグラフィックデザインなど様々な業務を手掛ける。良いモノづくりがもっと認知され、続いてほしい、という思いから現在は地場産業の仕事に力を入れる。2016年 ELLE DECOR日本版「Young Japanese Design Talents」賞など受賞多数。2020年グッドデザイン賞審査委員。

第2回テーマ 食と生活で切る！

時代の風を読み、“和”の飲食店をプロデュースする



宮下大輔

料理人
飲食店プロデューサー

1961年山梨県生まれ。早稲田大学在学中にダイニングバー「春秋」の創業に参加。1995年「春秋」を退き、麻布十番に「暗闇坂 宮下」を開店（現在は3店舗を運営）。以降、丸の内、青山、六本木などにもレストランを開店。表参道ヒルズ内の洋食店 MIYASHITAなど、様々なレストランのプロデュースやリーシングコンサルも行っている。東京スカイツリー展望デッキレストラン「SkyRestaurant634」の総合プロデュースを手がけるなど、最近では飲食店を中心に、旅館や商業施設のプロデュースをするなど、活躍の場を広げている。

第3回テーマ 「モノ」と「コト」の新しい価値の発見で切る！

モノづくりを通じた地域おこしのアドバイザーとして活躍



北村森

商品ジャーナリスト

1966年富山県生まれ。慶應義塾大学法学部政治学科卒。元「日経トレンド」発行人兼編集長。2008年4月、日経ホーム出版社（現・日経BP社）を退職。以来、商品ジャーナリストとして活動。製品・サービスの評価、消費トレンドの分析、地方自治体や商工団体と連携する形で地域おこしのアドバイザー業務に携わる。2015～2016年、第1回「だれかのために考えた発明品アイデアプロジェクト」（東大阪ブランド推進機構）の総監修を担当するなど、屈指の商品ジャーナリストとして活躍。現在多数のメディアに登場している。株式会社ものめぐり代表取締役社長。

第1～3回 ワークショップ ファシリテーター

地域活性化と人財育成&商品開発のプロフェッショナル



近滋男

JTB総合研究所 研究員

大学卒業後JTB入社。情報開発、商品開発、商品販売コンサル、教育研修コンサル部門の現場で活躍。その後、情報企画部門を経て研修部門で社内外の人財育成に関わる。マーケティング、コミュニケーション、モチベーションを専門分野に講師歴20年の実績。現在はJTB総合研究所に所属し地域活性化に関するコンサルと人財育成に関わる。

参加申込

講演とワークショップの両方ご参加いただける方のみ、定員30名の募集となります。

申込期限：1/21（木）

申し込み方法

- お申込みは、電話、メール、FAX のいずれかで次の申込み先までお願いします。
- FAX でお申込みの場合は、下記参加申込欄に記入したものをご送信ください。
- 電話、メールでお申込みの場合は、参加申込欄の内容をご連絡ください。

笠間市の方

【笠間市 生涯学習課】

Tel : 0296 - 77 - 1101

Fax : 0296 - 71 - 3220

E-mail : n_isan@city.kasama.lg.jp

益子町の方

【益子町 生涯学習課】

Tel : 0285 - 72 - 3101

Fax : 0285 - 72 - 3110

E-mail : syougai@town.mashiko.lg.jp

定員以上の申込みがあった場合は抽選となり、その場合は電話、メール等で結果をご連絡します。
笠間市、益子町以外の方で参加をご希望の方は益子町生涯学習課までご相談ください。

氏名

所属

連絡先電話 自宅

Office

Eメールアドレス

連絡先住所 自宅

(連絡先としてふさわしい
住所をお書きください)

Office

ご一緒に参加される方

氏名

連絡先

氏名

連絡先